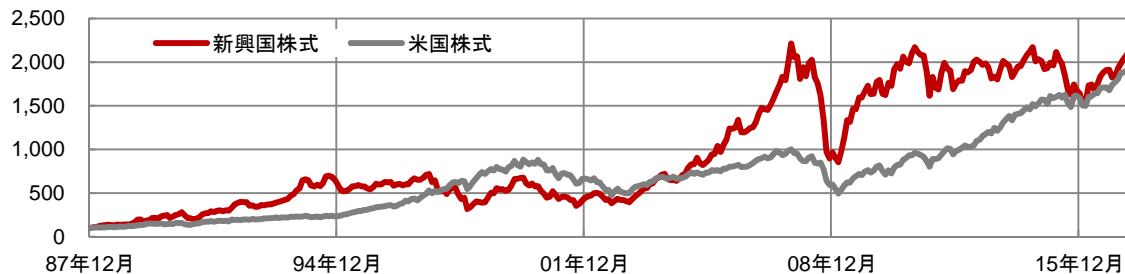


新興国株式、15年ぶりの転換点か 新興国株式優位へ、転換の兆し

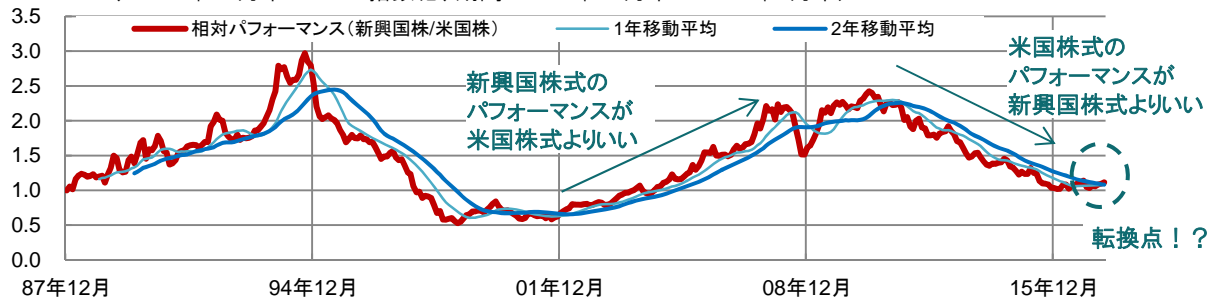
新興国株式のパフォーマンスは、2016年に引き続き2017年も好調に推移しています。新興国株式と米国株式の相対パフォーマンスの1年移動平均が2年移動平均を上回ろうとする状況は、15年ぶりの転換点を示唆している可能性があるといえそうです。

■新興国株式と米国株式の推移(米ドルベース、1987年12月末=100として指数化、期間:1987年12月末～2017年5月末)



■新興国株式の対米国株式相対パフォーマンスの推移

(米ドルベース、1987年12月末=1として指数化、期間:1987年12月末～2017年5月末)



※新興国株式: MSCI新興国株価指数、米国株式: MSCI米国株価指数、いずれも配当込み

※MSCI指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。出所:ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

割安な水準にある新興国株式

好調に推移する新興国株式、今から投資しても遅くはないのでしょうか？新興国株式(MSCI新興国株価指数)の予想PER(株価収益率)は12倍と、米国株式(MSCI米国株価指数)の18倍に比べて割安な水準です。(2017年5月末現在)相対的に割安で、転換点を迎えた可能性が高い新興国株式、今後の上昇にも期待できます。

緊急企画PICTETスペシャルセミナー

このような環境下、ピクテではスペシャルセミナーを開催いたします。「新興国株式投資—15年ぶりの転換点」と題して、7/11東京、7/19福岡、7/24大阪の3会場でいきます。転換の兆しを見せ始めた新興国株式について、徹底解説いたします。お申込みの詳細については、ピクテのホームページをご覧ください。

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。